

■ ふるさとの「いのち」とふれあう東っ子（笠縫東小学校）

1 【活動の趣旨】

本校は、総合的な学習の時間において、市民グループ「草津塾」や地域の学習ボランティアなどの協力を得ながら、1年生～6年生まで環境学習を行っている。自然の魅力や歴史・伝統を学ぶことで、地域を見つめ直し、地域に愛着を持つ子どもを育てることを目指している。

2 【特徴的な活動内容】

○「知ろう！広げよう！！あおばなのすてき！！」

3年生の総合的な学習の時間で、草津市の市花に認定されている「あおばな」の苗を一人一株もらいうけ、大切に育てた。また、アオバナ会の協力を得ながら、あおばなの歴史や育ち方について学んだり、あおばなの色水を使ってうちわ塗り体験をしたりしたことで、あおばなの魅力について学びを深めることができた。育てた花は摘んで押し花にし、しおりを作成して地域の方に配布した。

○「葉山川生き物調査」

毎年、市民グループ「草津塾」や地域の学習ボランティア、保護者有志のみなさんの支援のもと葉山川に入り、川幅の測定・透明度の調査、魚や水生昆虫などを捕獲し、ふるさとの川の様子を調査している。本年度は、調査後に「We l o v e 葉山川プロジェクト」と題して、いくつかのプロジェクトチームを立ち上げた。「ヨシ・ホタルチーム」では、公益財団法人淡海環境保全財団の方からヨシの重要性や活用についての話を、「親水公園チーム」では、滋賀県流域政策局河川・湾岸室河川環境係の方から親水公園の役割や設置までの流れについて話を聞いた。自分たちにできることにまで考えを深め、行動しようとする態度を養うことができた。



【うちわ塗り体験】



【葉山川生き物調査】

3 【実施に当たっての工夫】

年度初めに「エコスクール」を開き、各学年主任と市民グループ草津塾とで年間の学習内容や体験活動の日程調整を行うことで、見通しを持って進めることができた。また、今年は市教育委員会の方にも数多く関わっていただいたことで、人材探しや単元計画の工夫にもつながった。

4 【事業の成果】

本年度は学習発表だけでなく、地域の方や各団体へ発信することもできた。子どもたちの思いが形となって届けられたことは、大きな自信へとつながった。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

地域の方の高齢化が進んでいるため、事業内容の精選や人材の確保が今後必要である。また、地域や学習ボランティアへの連絡方法や事業内容が地域コーディネーター間で確実に引き継げるようなシステムを残していきたい。